

第31回UTYカップ山梨県少年軟式野球交流大会実施要項

1. 大会趣旨

本大会は、県下の少年野球チームが、数多くのチームと交流し、技術の向上はもとより、相互の友情と連帯の輪を広げ、合わせてスポーツ少年団員としての自覚と誇りを高めることを目的とする。

2. 主催

UTYテレビ山梨、
UTYカップ山梨県少年軟式野球交流大会実行委員会

3. 日程

- ・7月16日（土） 組み合わせ抽選会・監督主将会議

会場：ジットセレモニーホール

（受付 16時00分～ 抽選会 17時00分～）

- ・8月20日（土） 開会式会場：小瀬スポーツ公園野球場

（受付 17時30分～ 開会式 19時00分～） ナイター

※8月20日が雨天の場合、8月21日（日）ナイターに順延

（受付 17時30分～ 開会式 19時00分～）

- ・9月18日（日） 1・2回戦

- ・9月19日（月・祝） 3・4回戦

- ・9月24日（土） 準々決勝

- ・10月2日（日） 準決勝・決勝（決勝はナイター）

予備日…9月23日（金・祝）、25日（日）、10月7日（金）

※上記日程は予定となります。変更の可能性がございます。

4. 出 場 資 格 出場チームは次に掲げる各項の条件を備えなければならない。

- (1) 山梨県内の小学生で編成したチーム。4年生以上で出場することが望ましい。
- (2) 今年度出場チームは、地域のスポーツ少年団または山梨県野球連盟に登録しているチームのみ出場を認める。

ただし、同一チームで、2チーム以上を編成して出場することも可能。

また、選手数が足りないチームについて両チームの承諾を得た後、補強という形で編成することが可能となる。

(選抜と見えるチームの編成は認めない)

- (3) 参加選手はスポーツ障害保険に加入する。加入しない者は参加を認めない。
- (4) チームのメンバーは20人以内の男女をもって編成する。
- (5) チームは20歳以上の成人男子の責任者を必ずチーム代表者としなければならない。
- (6) 出場については、必ず保護者の同意を得る。
- (7) リトル及びシニアリーグ連盟等に登録している選手は参加できない。
- (8) 出場資格条件の解釈に異論が生じた場合、UTY カップ実行委員会にて別途審議する。

5. 適 用 規 則 「2022年公認野球規則」、「全日本軟式野球連盟競技者必携」を適用する。細部については、
大会要項・特別規則を参照のこと。

6. 投 球 制 限 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日70球以内までとする。

7. 大 会 使 用 球 公益財団法人 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号を使用する。

8. 参 加 料 1チーム20,000円を抽選会・監督主将会議の当日納入すること。

(※但し、2チーム以上参加の場合は2チーム目からは10,000円とする)

9. 表 彰 優勝、準優勝、3位(2チーム)を表彰

個人賞(ベストナイン)の表彰

10. 感染予防対策 UTY カップ実行委員会の定める感染予防対策ガイドラインに基づいて試合に臨むこと。

協力に応じないチームについては参加を認めない。詳細は感染予防対策ガイドラインを参照
のこと。

<大会要項>

今大会はUTYカップ山梨県少年軟式野球交流大会実行委員会の決定事項に則り試合運営を行う。

- (1) 選手には必ず背番号(0~99まで)をつける。監督は30番、コーチは28番、29番、主将は10番とする。
- (2) スパイクはゴム製とし、金属及びセラミックスパイクは禁止する。
- (3) 監督、コーチは必ずユニホームを着用すること。
- (4) 投手は変化球を投げることを禁止する。一度注意し、再度投げた場合には投手を交代させる。

なお、その投手は他の守備位置につくことは許されるが、大会期間中は投手として出場することはできない。

- (5) 打者、次打者、走者、コーチは必ず(公財)全日本軟式野球連盟公認のヘルメットを着用する。捕手は(公財)

全日本軟式野球連盟公認のマスク、ヘルメット、プロテクター、スロートガード、レガース、ファウルカップを必ず着用する。

- (6) ボークはルール通り採用する。
- (7) 打者に対するデッドボールはルール通り採用する。
- (8) 万一、試合中負傷などの事故があった場合、応急処置は講じるが、以後の治療について主催者はその責任を負わない。
- (9) 試合は7回とし、同点の場合は特別規則の(8)を適用する。
- (10) 各チーム2名~3名の審判の協力をお願い致します。

尚、審判の服装については、審判服又は白ワイシャツ・白ポロシャツ、スラックス(黒又は紺)、審判帽(黒又は紺の野球帽)、運動靴、着用とする。

- (11) 各チームは、試合会場に1時間以上前に入り、グラウンド整備などを手伝って下さい。
(特に初日は、各チーム2名ずつ各グラウンドに派遣して下さい。試合終了後も、グラウンドの整備をお願い致します。)
- (12) 各試合では、グラウンド責任者及び実行委員の指示に従って下さい。

<特 別 規 則>

- (1) シートノックは最初の試合のみ5分間とする。(試合の運行上行わないこともある。)

※シートノック時の補助員は必ずヘルメットを着用する。

- (2) ベンチは組み合わせの若い方を1塁側とする。

- (3) 学校校庭を使用するときは審判団と協議の上、特別グラウンドルールを設定する。

- (4) 試合は7イニングで、1回戦～準決勝は5回以降7点差以上のときはコールドゲームとし、1時間30分を越えて新しいイニングに入らない。

(ただし、決勝のみコールドゲームは無しとし、最大1時間50分とする。)

- (5) 試合途中での暗黒、降雨の場合は4回終了でゲーム成立とする。なお同点の場合はタイブレークを行わず、中断時の9名による〇×式抽選を行う。

- (6) 次打者は速やかにネクストバッターズサークルで待つ。＊投手も必ず実行する。

- (7) バットボーイは競技の妨げにならないよう、バッドの回収を行う。

- (8) 同点の場合 ※タイブレーク方式(ランナー1、2塁で開始する)

◎1回戦～準決勝 タイブレーク方式を1回行い、決しない場合は、試合終了時の9名による〇×式抽選を行う。

◎決勝戦 7回までで勝敗が付かない場合は、タイブレーク方式を最大2回行う。決しない場合は、試合終了時の9名による〇×式抽選を行う。

- (9) 1回戦での同一地区対戦を避けるため、県内を7ブロックに分けて抽選を行う。

- (10) 抗議については、監督と当該プレーヤーとする。

- (11) 試合中の雷雨については、審判団の指示にすみやかに従うこと。

- (12) チーム並びに応援団は、(公財)全日本軟式野球連盟競技規則に触れないよう注意すること。

- (13) 他に特別規則にない事項は(公財)全日本軟式野球連盟取り決め事項、特別規則を適用する。

- (14) 必要であれば熱中症対策及び選手の健康管理のために3名の保護者のベンチ入りを認める。

- (15) 各チームは救急箱を用意して下さい。

- (16) 各会場・グラウンド周辺のゴミはチームごとに必ずお持ち帰り下さい。

- (17) 開会式で使用するグラウンドへは芝生等のグラウンド整備上、監督、コーチ、選手のみがグラウンドへ入場できるものとし、それ以外の者は入場を禁止する。

○×式抽選方法について

- ① 両チーム監督立ち会いのもと、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが投手からポジション順に終了あいさつの状態に整列する。
- ② 抽選用紙に○印・×印を記入したものを各9枚ずつ封筒に入れる。
- ③ 球審が18枚の封筒を持ち、先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる。
- ④ 二人の審判員が両チーム監督の立会いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

<感染予防対策ガイドライン>

本ガイドラインは、公益財団法人全日本軟式野球連盟が令和2年6月4日付で公表したJSBB感染予防対策ガイドラインに基づいて、UTY カップ実行委員会で作成いたしました。場合に応じて以後文面を加筆・修正する可能性があります。

本大会に参加する選手、およびその保護者や大会関係者の皆様は下記を遵守していただきますようお願いいたします。協力を得られない場合、他の参加者の安全を考慮し、大会への参加の取り消しや、途中退場を求める場合がございます。また、大会参加者に感染が判明した場合、参加者名簿を関係機関に公表する場合がありますのでご承知ください。

参加について

- (1) 発熱、咳、倦怠感などの風邪症状や味覚・嗅覚に異常を覚えている者の参加を認めない。
- (2) 試合当日前14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者、政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。

(3) 大会開催中に参加者から感染者が出た場合、判明した時点で大会を中止する。大会前にチーム内に感染者が出た場合、そのチームは棄権扱いとする。大会開催前、もしくは開催中に各学校内で感染者が出た場合、各市町村の教育委員会、学校の指示に従うこと。大会開催中に参加者が濃厚接触者となった場合、該当者は判明後の試合への出場を認めない。

(4) 大会開催中から終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した参加者は、チーム責任者に報告し、チーム責任者から UTY カップ実行委員会まで連絡すること。

大会について

(1) 参加チームは各自消毒用アルコールやマスクを準備する、選手ごとにタオル、ペットボトル、コップを用意する、会場移動時は必ずマスクをする、チームでの食事時には適切な距離をとる等の感染症対策を講じること。

(2) 参加者は試合会場に来る前に検温し、チーム責任者は試合前に実行委員会にチーム関係者（選手、監督、コーチ、ベンチ入りする保護者）全員の健康状態や連絡先が明記された健康チェックシートを提出すること（大会実施日毎）。

(3) 選手、チーム関係者、審判員などは試合会場に入る際、必ずマスクを着用すること。競技中の選手、審判員のマスク着用は義務ではないが、ベンチ内にいる際はマスクを着用すること。また、試合時の攻守交替決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える際は、各々マスクを着用して行うこと。

(4) 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットをチームで徹底すること。

選手の円陣や声出し、ハイタッチなどは禁止する。ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。

(5) 試合前の整列は各ベンチ前で行うこと（ホームベース上で向かい合って整列は行わない）。

(6) 試合会場によっては、観客の入場規制を行う場合がある。また観客が入る場合、応援者は1席分間隔を空けるなど一定間隔を保つよう努力し、大声を出して応援することを禁止する。

(7) 試合で使用するロジンバッグは両チームで共用しないこと。（なお大会日毎に各チームに運営から複数のロジンバッグを提供する。不足しそうな場合、チームでも準備をすること。）チームとして用具の共用は極力行わないようにすること。共用せざるを得ない用具は定期的にアルコール消毒すること。

(8) 試合の入れ替えの際、使用したチームがベンチのアルコール消毒を実施すること。

前のチームが完全に出るまでベンチに入らないなど運営の係員の指示に従うこと。

(9) 万が一、感染者が判明した場合、各チームで該当者への誹謗中傷や非難などがないようにご指導をお願いします。